

Press Release

報道関係・教育担当記者 各位

南山大学人類学博物館・明治大学博物館交流事業  
2019年度所蔵資料交換展示「刑事博物館前史－拷問・刑罰の記憶と記録」を開催

南山大学人類学博物館（名古屋市昭和区）では、9月28日（土）～11月3日（日）にかけて、明治大学博物館との交流事業として、2019年度収蔵資料交換展示「刑事博物館前史－拷問・刑罰の記憶と記録」を行います。南山大学人類学博物館と明治大学博物館は、2010年3月に相互交流の協定を締結して以来毎年、両館を特色づける個性的なコレクションを交換して展示する企画展を開催しています。

今年の南山大学会場では、明治大学博物館の収蔵資料として、日本で刑事博物館が設立される以前の、中世ならびに前近代の刑罰や拷問の記録などを展示します。

記

「刑事博物館前史－拷問・刑罰の記憶と記録」

日 時：9月28日（土）～ 11月3日（日）

会 場：南山大学 R棟地下1階 南山大学人類学博物館展示室

主 催：明治大学博物館・南山大学人類学博物館

紹 介：

「日本に於いては…未だ刑事博物館の設けが無い」として、1929年に明治大学刑事博物館が開設されました。拷問・刑罰の様相を具体的に紹介する博物館展示は、現在もなお当館をおいてほかにほぼ見られないと言っても過言ではありません。つまり、我が国においては未だ白日の下にさらすことをタブー視する傾向にある拷問・刑罰ですが、今回の展示では刑事博物館が設立される以前において、それらがどのように記録・評価されていたのか、関連の館蔵資料を展示します。

ギャラリートーク

講 師：外山 徹氏（明治大学博物館学芸員）

日 時：10月19日(土)13:30～14:30

会 場：南山大学人類学博物館

※参加費無料・申込不要

問い合わせ：南山大学人類学博物館 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18

Phone : (052)832-3147 (直通) <http://rci.nanzan-u.ac.jp/museum/>